

第2学年 算数科学習指導案

場所 2年教室 指導者

- 1 単元 図をつかって考えよう (3) (本時 1/2)
- 2 本時の目標
2つの量の違いに目を向け、図に表したり立式したりできるようにする。(知識・技能)
- 3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (5)	1 実況アナウンスを聞いて、どちらの組が勝っているか考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ・どっちの点が多いのかな。 ・赤組が勝っていると思うよ。 </div>	「どちらがかっているかな。」 ・教科書1の問題を音声だけで伝える。 ・文字で表記したものを黒板に掲示する。 「白組は何点でしょう。」
課題 (2)	2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 5px;"> 問題文を図にしてみよう。 </div>	・本時の学習課題を板書する。
展開 (33)	3 問題文を見ながら図にわかることを書きこむ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ・赤組が勝っているから、長い線の方が赤組だ。 ・白組は4点少ないよ。 ・赤組より少ないからひき算を使おう。 </div> 4 チームで話し合っって正解を見つける。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ・「多い」とあるからたし算だよ。 ・白組の方が負けているから赤より点数が少なくなるんじゃないかな。 ・4点分少ないからひき算かな。 </div> 5 類題を解く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ・同じ図で考えると分かるよ。 ・みかんの方が安くなるはずだからひき算だな。 </div>	<主発問> 「図を描いて、白組の点数を考えよう。」 <個人思考の場> ・問題文の内容を書き込むためのテープ図を配る。 ・白組の点数を求める式を書くよう促す。 <対話の場> ・全員が同じ答えになったチームは、説明の仕方を考えるよう声を掛ける。 ・答えが対立したチームは自分の考えをチームの子に説明するよう指示し、どの考え方が正解に近いか全員に問いかける。 ・正しい答えを導けたチームの代表を指名し立式とそのわけを説明する場を作る。 ・ \triangle を解くよう指示する。 ・困っている子には、考えやすいようにテープ図を渡す。
整理 (5)	6 本時の振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 図を使うと、どちらが大きいかわかりやすかった。 </div>	<ふりかえりの場> ・図を使う良さに注目させるために「図をつかうと」で書き始めるよう伝える。 ・図のよさに気付いている児童を称賛する。

- 4 評価
2本のテープを比べてひき算で求める理由を考えることができたか。

(活動4, 5の記述と発言内容から)